

西海ブロック水産業情報

NO. 65 (平成21年4月～6月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>【アカアマダイ】 ・4月中旬に標識(ALC耳石染色及びイラストマー)を施して、4月18日に合計2千尾を放流した。</p>	<p>・養殖カキはへい死少なく順調に成長。 ・6/1より青壮年部主体の抱卵ガザミの再放流活動を開始。</p>	<p>「研究の動向」 【水産資源関係】 ・タイラギ調査、ウミタケ生息状況調査、漁獲物動向調査(市場調査)を実施。 【水産海洋・漁場保全関係】 ・浅海定線調査、漁場環境モニタリング調査(底質、マクロベントス)、サルボウ適正生息環境調査(水質)、貝毒分析(サルボウ) 【水産増養殖関係】 ・アゲマキの囲繞堤を使用した底質改善試験、タイラギ干潟移植試験、養殖マガキモニタリング調査、放流アゲマキ追跡調査、 ・天然採苗カキ及びサルボウ濾水速度試験、天然採苗カキ及びイタボガキ垂下養殖試験、サルボウ浮遊幼生・稚貝発生状況調査 「水産業の動向」 【水産資源関係】 ・ウミタケの生息量が少なく、簡易潜水器漁業は操業なし。 ・西部海域のタイラギは現在まで「立ち枯れ斃死」は確認されていない。 ・ビゼンクラゲが非常に多い。 ・マナガツオが豊漁 ・6月にキスが豊漁 【水産海洋・漁場保全関係】 ・水温は平年並み、比重は並年に比べ高めで推移した。 【水産増養殖関係】 ・クルマエビ、ガザミ放流</p>	<p>○種苗生産 ・クエ:5月中旬から採卵試験を実施、100kl水槽2面で種苗生産試験を実施中である。 ・カワハギ:天然親魚を用いてホルモン処理による自然産卵によって、受精卵を確保し、1klパンライト水槽5面と8kl水槽を用いて種苗生産試験を実施中である。 ・コウライアカシタビラメ:4月上旬に有明海で漁獲された天然親魚からホルモン処理によって受精卵を確保し、0.5～1klパンライト水槽で種苗生産試験を実施中である。</p>	<p>・クルマエビ類の急性ウイルス血症(PAV)の発生は確認されなかった。 ・トラフグ養殖において、カリグス寄生による被害が確認された。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>特記事項なし</p>	<p>・平成20年6月に、平成19年に襲来した台風によりウニ類が減少した延岡市須美江地先にホンダワラ類母藻投入による藻場の回復を試みた。7ヶ月後の平成21年1月に約3,500㎡の藻場形成を確認、さらに10ヶ月後の平成21年4月に、この3,500㎡の藻場から約50m離れた場所に約1,100㎡の藻場が形成されているのを新たに発見した。この試みにより合計4,600㎡の藻場が形成された。</p>	<p>・4月～5月にかけて、豊後水道沿岸域で粘着性を伴った植物プランクトン(タラシオシーラ属の一種)の群体が出現して、釣り漁業、刺し網漁業等で操業に支障が生じた。6月に入津湾でケラチウム・フルカおよびフスの赤潮、佐伯湾でプロロセントラム・デンタータムの赤潮、猪串湾でクロデニウム・ポリクリコイデスの赤潮が発生したが、いずれも漁業被害は無かった。</p>	<p>・イリドウイルス感染症不活化ワクチンの対象魚種にヤイトハタが追加されたことから、沖縄県内においても養殖魚(マダイ・ヤイトハタ)へワクチン接種を希望する漁業者が増加した。このため、今期配布種苗から接種できるように、ワクチン接種希望者を対象としたワクチン接種技術講習会を開催した(4月に1回、6月に2回開催)。</p>